

評価対象 良質な個別サービスの実施(老人福祉施設版)

【評価項目】		a	b	c	Na	判断の理由
1 生活環境						
(1)生活環境が適切に整備されている。						
1	利用者の生活空間への配慮がなされている。	○				「居室等環境整備マニュアル」が策定され、利用者の個人スペースへの私物や趣味の道具の持ち込み、見やすい高さのテレビ台の工夫など、利用者個人の生活空間づくりへの配慮が認められたので、a評価とした。
2	利用者のプライバシーを保護するような設備上の工夫がなされている。	○				利用者の個人スペースをカーテンで仕切り、ポータブルトイレを使用する利用者のためにはついたてを設置する、などにより利用者のプライバシー保護に努めるとともに、居室の改装によるプライバシー確保の工夫も確認されたので、a評価とした。
3	利用者にくつろぎを与えるための工夫がなされている。	○				各棟にセミプライベートゾーンを設け、少人数でくつろげる場づくりに取り組まれていることが施設内視察で確認されたので、a評価とした。
2 コミュニケーション						
(1)利用者とのコミュニケーションが円滑に保たれている。						
4	コミュニケーションについて、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	○				支援の必要な利用者について、ケアプランの中に個別・具体的なコミュニケーションの方法が明示されていたので、a評価とした。
3 移動						
(1)必要な利用者に対する移動の支援が適切に行われている。						
5	移動(移乗を含む)について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	○				ケアプランの中に、移動・移乗についての個別・具体的な支援の方法が明示されていたので、a評価とした。
4 食事						
(1)必要な利用者に対する食事の支援が適切に行われている。						
6	食事(栄養管理含む)について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	○				「栄養ケアマネジメント取扱い要領」に基づき、個別・具体的な支援方法を策定し、ケアプランに明示していることが確認されたので、a評価とした。
(2)快適な食事環境の整備に配慮している。						
7	利用者の嗜好を把握し、それに応じたメニューが提供されている。	○				定期的に嗜好調査を実施し、把握された結果を反映したメニューによる食事が提供されていると史料されたので、a評価とした。
8	利用者が食事を楽しむことができるような工夫をしている。	○				バイキング食や誕生日のフルコースを定例化し、食事場所の変化や陶器の食器の使用など、食事を楽しむ様々の工夫が行われていたため、a評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
5 入浴(清拭を含む)						
(1)必要な利用者に対する入浴・清拭の支援が適切に行われている。						
9	入浴・清拭について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な実施方法が明示されている。	○				入浴・清拭について、個別・具体的な支援の方法がケアプランの中に明示していることが確認されたので、a評価とした。
(2)入浴・清拭時の安全性やプライバシーを確保するための取り組みを行っている。						
10	入浴・清拭時のプライバシーへの配慮がなされている。	○				「入浴ケアマニュアル」に具体的な方法が明示され、同性介護を希望する利用者への対応など、プライバシーへの配慮がされていると史料されたので、a評価とした。
11	入浴・清拭時の安全や快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	○				浴室や脱衣所を拡張するなどの安全や快適に配慮する環境上の工夫をはじめ、個別浴・リフト浴・特殊浴の3種の設備を備え、利用者の希望に応じた入浴の回数・時間への配慮もされていることが、施設内視察と聴取により確認することができたので、a評価とした。
6 排泄						
(1)必要な利用者に対する排泄の支援が適切に行われている。						
12	排泄について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な実施方法が明示されている。	○				排泄について、個別・具体的な実施方法が明示されていることを聴取と書面で確認できたので、a評価とした。
(2)排泄時の安全性やプライバシーを確保するための取り組みを行っている。						
13	排泄時のプライバシーへの配慮がなされている。	○				「排泄ケアマニュアル」に具体的な方法が明示され、居室を改造してトイレを設備するなど、プライバシー配慮への取り組みが行われていると判断し、a評価とした。
14	排泄時の安全や快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	○				高さ補正のトイレや手すりの設置による安全への工夫がなされており、トイレの臭気も感じられず、快適性に配慮された環境であることが確認されたので、a評価とした。
7 整容						
(1)利用者の身だしなみや清潔保持が適切に行われている。						
15	身だしなみや清潔保持について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づく個別・具体的な実施方法が明示されている。	○				身だしなみや清潔保持について、ケアプランの中に個別・具体的な方法が明示されていることが確認されたので、a評価とした。
(2)利用者の理・美容が適切に行われている。						
16	利用者の理・美容について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づく個別・具体的な実施方法が明示されている。	○				施設内に理美容室を設けて外部の業者による理美容が行われているとともに、施設外での利用の支援も明示されている。髪型の選択など、その人らしさを尊重した支援が行われていると史料されたので、a評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
8 相談等の援助						
(1)利用者からの相談に適切に対応している。						
17	利用者からの多様な相談に積極的に対応している。	○				相談窓口が設置され、場所や担当者、受付時間等が明示されるとともに、「ご意見宝箱」の設置や利用者懇談会の開催など、多様な相談に対応できる配慮が認められたので、a評価とした。
18	利用者の精神面に着目した支援を行っている。	○				ケアプランの中に支援方法を定め、閉じこもりや意欲低下、健康面への不安などを含め、精神面の活性化を目的とした各種の療法が行われていることが確認できたので、a評価とした。
(2)家族や友人等とのつながりに配慮している。						
19	家族、友人等との関係を把握しているとともに必要な支援を行っている。	○				利用者個別の家族関係を把握し、「ふるさと訪問」(家族との面談)を実施したり、家族に対する面談の働きかけや、定期的に外泊や外出を促す等の支援が行われていることが確認されたので、a評価とした。
9 機能回復等への支援						
(1)利用者の機能の回復等に向けた支援が適切に行われている。						
20	利用者の機能訓練に関する個別、具体的な実施方法が明示されている。	○				専用のリハビリ室に2名の専門スタッフを配置し、身体機能の減退防止・精神の活性化・生活動作の保持に着目した実施体制が整備されているとともに、ケアプランに個別・具体的な方法を明示しており、a評価とした。
(2)利用者の余暇活動や学習に対する支援が適切に行われている。						
21	利用者の余暇活動(アクティビティ)や生きがいづくりなどに対する支援が行われている。	○				「アクティブケア検討委員会」を設置し、「アクティビティケアマニュアル」に基づいて利用者個別の希望に沿った外出・ショッピング等が実施されており、生きがい作りに対する積極的な取り組みが確認されたので、a評価とした。